

4. 主要施策

平成28年度（2016年度）主要施策

I 安心・支えあい最優先

1. 防犯カメラによる安全・安心なまちづくりの推進

市内の全ての公園(203園)に防犯カメラを設置します。また、自治会が1台2万円程度で防犯カメラを設置できるよう、設置費用の9割を補助するキャンペーンを継続し、犯罪の未然防止と早期解決を強力に推進します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・市内の全ての公園(203園)に防犯カメラ設置	70,648	総務部

2. 「災害に強い箕面」の実現

箕面8丁目平和台住宅の北西部など、土砂災害の人的な危険度が高い地域から順次、調査・測量を進めるほか、大阪府の土砂災害対策の新制度を活用し、「箕面市のレッドゾーン*人口ゼロ」をめざします。（* レッドゾーン:土砂災害特別警戒区域）

いつ起きるかわからない大地震などの災害に備え、毎年1月17日に実施している全市一斉総合防災訓練で、安否確認や避難所までの徒歩避難訓練に加え、地区防災委員会ごとに、防災倉庫の資機材取扱い訓練やトリアージ訓練など、市民参加に重点を置いた訓練を実施し、地域ぐるみで安全意識の高いまちづくりを進めます。

「地域防災ステーション」として、公園など10箇所(平成25年度から28年度までに60箇所整備)に消火・救助用資機材等を納めた大型ベンチを設置し、地域の災害救助の拠点づくりを進めます。

大阪府ため池防災・減災アクションプランに基づき、下流に人家や公共施設などがあり、決壊した場合に影響を与えるおそれのある市内13箇所のため池について、ハザードマップの作成を行います。(併せて、大阪府が耐震診断を実施)

無料で実施している木造住宅の耐震診断や、設計・工事費用の一部助成を継続し、耐震化率の向上を図ります。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・箕面8丁目平和台住宅の北西部など、土砂災害の人的な危険度が高い地域から順次、調査・測量を実施	6,795	総務部
・平成29年1月17日(火曜日)の全市一斉総合防災訓練で安否確認や避難所までの徒歩避難訓練などを実施	27,875	総務部
・「地域防災ステーション」として、公園など10箇所に消火・救助用資機材等を納めた大型ベンチを設置		
・市内13箇所のため池のハザードマップの作成(大阪府が耐震診断を実施)	25,000	総務部
・木造住宅の耐震診断の無料化、設計・工事費用の一部助成を継続	53,468	みどりまちづくり部

3. 消防・救急体制の充実

本年4月から豊能町の消防業務を箕面市消防本部に統合します。従来の7隊108名から10隊141名体制とし、火災・救急が同時に複数発生した場合にも迅速に対応するなど、広域化のメリットを生かした消防力・救命力の強化を図ります。

消防団運営補助金を増額し、消防団員が安全に活動できる環境を整え、消防団機能を強化します。

住宅用火災警報器の設置や住宅防火診断、木造住宅の耐震化を大きく促進するため、消防職員による全戸訪問を開始します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・豊能町の消防事務を箕面市消防本部に統合し、消防力・救命力を強化	1, 416, 206	消防本部
・消防団運営補助金を増額し、安全に活動できる環境を整え、消防団機能を強化	19, 463	消防本部
・住宅用火災警報器の設置や住宅防火診断、木造住宅の耐震化の促進のため、消防職員による全戸訪問を開始	640	消防本部

4. 健康長寿の取組強化

稲ふれあいセンターにおいて、大阪大学医学部と共同で高齢者の筋力や柔軟性、バランス能力などの向上に向けた実証研究を実施します。

シニアグループなどの活動を強力にサポートするため、シニア活動応援交付金を交付します。また、受講希望者の多いシニア塾の拡大を実施し、高齢者が健康で生きがいを持って活躍・活動できるよう支援します。

また、地域の公園など身近なフィールドを利用したラジオ体操や滝道週末ウォーキングなど、市内企業等の協賛を得て、市民が無理なく長く運動を続けられる環境を整備します。

持病などの医療情報や緊急連絡先を記した「(仮称)救急安心カード」を作成します。75歳以上の高齢者など約2万2千名に配布し、各家庭の冷蔵庫に掲示していただき、緊急時に救急隊が迅速に措置できるよう備えを強化します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・稲ふれあいセンターで、大阪大学医学部と共同で高齢者の筋力などの向上に向けた実証研究を実施	83, 100 (H27補正予算)	地域創造部
・シニアグループなどの活動をサポートするため、シニア活動応援交付金を交付		
・受講希望の多いシニア塾の拡大を実施	57, 520	健康福祉部
・身近なフィールドを利用したラジオ体操や滝道週末ウォーキングなどを通して、無理なく長く運動を続けられる環境を整備	147	健康福祉部
・「(仮称)救急安心カード」を75歳以上の高齢者など約2万2千名に配布し、緊急時の備えを強化	11, 067	健康福祉部

5. 子どもの「見守りサービス実証実験」を実施

子どもが安心して外出できるよう、ペンダントサイズの小型発信機を全ての小中学生に配布し、市全域で近距離無線通信(Bluetooth)を活用した「見守りサービス実証実験」を民間事業者と共同で実施します。全市立小学校や公共施設などに検知ポイントを設置するほか、オレンジゆずるバスや公用車など、「見守りアプリ」を搭載したスマートフォンを配備して移動検知ポイントとし、約500箇所の見守りネットワークを形成します。検知ポイントの近くを通ると位置情報が把握できるシステムで、今後は、認知症などで見守りが必要な高齢者への拡大もめざします。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・ペンダントサイズの小型発信機を全ての小中学生に配布し、「見守りサービス実証実験」を実施	—	子ども未来創造局

6. 市立病院における医療の充実と経営改革

内視鏡手術支援ロボット「ダビンチ」手術など体に負担の少ない最先端の治療や、リハビリテーションセンター、外来治療センターの有効活用により、急性期医療に重点を置いた高度な医療体制の整備を図ります。

今後は、「新市立病院改革プラン」を策定し、消費税率の見直しや公営企業会計制度、年金制度の見直しなどの社会的要因によるマイナス分を取り戻し、さらなる経営改革を進めます。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・高度な医療体制の整備(医療機器等の整備)	226, 737	市立病院
・新市立病院改革プランの策定	—	市立病院

7. 高齢者・障害者等の移動を助ける「オレンジゆずるタクシー」 の実証運行の継続

健康上などの理由で電車やバス、一般タクシーなどの公共交通機関を利用しづらいたが、乗りたいときに乗ることができるよう、福祉有償運送「オレンジゆずるタクシー」の実証運行を継続し、利用状況を検証しながら、より便利で快適な移動サービスの提供と事業の独立採算をめざします。新年度も、福祉予約バスの利用登録者(約500人)に対しては、毎月2,400円分の利用券を配布し、利用者負担を軽減します。加えて、介護認定を受けておられるかたや障害者手帳をお持ちのかたなどに対し、お試し利用券(延べ5,500人分)を配布し、利用促進を図ります。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・福祉有償運送「オレンジゆずるタクシー」の実証運行の継続と利用券・お試し利用券の配布	39,656	健康福祉部

Ⅱ 子育てしやすさ日本一

1. 英語教育の強化

昨年増員した市立小中学校の外国人英語指導助手を、さらに1.5倍の33名に拡大します。これにより各校の全クラスで最低週1回以上、ネイティブによる英語の授業を実現します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・市立小中学校の外国人英語指導助手を昨年の1.5倍の33名に拡大	156,577	子ども未来創造局

2. 教育環境の充実

小中一貫校「彩都の丘学園」で46教室分、中小学校で8教室分の校舎増築工事に着手します。また、小中一貫校「とどろみの森学園」での第2期増築(19教室分)に向けた詳細設計を開始します。

平成27年度に増設した5校に加え、待機児童が発生しないよう、児童数の増加が見込まれている萱野東、彩都、中、止々呂美の4つの小学校で学童保育室を増設します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・彩都の丘学園で46教室分、中小学校で8教室分の校舎増築工事に着手。とどろみの森学園での第2期増築(19教室分)に向けた詳細設計を開始	376,191	子ども未来創造局
・萱野東、彩都、中、止々呂美の4つの小学校で学童保育室を増設	9,981	子ども未来創造局

3. 待機児童対策と子育て支援の充実

年度当初だけではなく、いつでも子どもを預けられる“通年の待機児童ゼロ”をめざし、平成31年度(2019年度)までに485名分の保育所定員を拡大するため、運営法人を公募し、早期整備を進めます。

市内の民間保育所に勤務する、市内在住の保育士に月額2万円補助するとともに、保育課程を学ぶ提携大学の学生に月額2万円を支援し、保育士の育成・確保を図ります。

就労世帯に保育所以外の選択肢を示すための市独自制度「子育て応援幼稚園保護者補助金制度」を継続します。

全市立幼稚園にエアコンを整備するとともに、バリアフリーの一環として、市立かやの幼稚園にエレベータを設置し、児童の安全・快適な保育環境を整えます。

また、豊川支所など公共施設5箇所にキッズコーナーを整備するとともに、ライフプラザの芝生広場に0歳・1歳・2歳の乳児に特化した“キッズパーク”を設営し、親子連れの外出・交流を促進することで、子育ての孤立化を防ぎます。

「中学校卒業まで(通院・入院とも／所得制限なし)」に大幅拡大した子どもの医療費助成を継続実施するとともに、小児インフルエンザ予防接種費用の一部助成(生後6か月から小学6年生までを対象に2回助成するクーポン券方式)を継続実施し、子どもたちの健康を守ります。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・平成31年度までに485名分の定員拡大をするため、運営法人を公募し、早期整備を推進	817, 056 (H28～H30 継続費総額)	子ども未来創造局
・市内民間保育所勤務の市内在住保育士に月額2万円を補助、保育課程を学ぶ提携大学の学生に月額2万円を支援	7, 200	子ども未来創造局
・子育て応援幼稚園保護者補助金制度の継続	481, 581	子ども未来創造局
・全市立幼稚園にエアコンを整備、市立かやの幼稚園にエレベータを設置	66, 896	子ども未来創造局
・豊川支所など公共施設5箇所にキッズコーナーを整備するとともに、ライフプラザの芝生広場に乳児に特化した“キッズパーク”を設営	83, 100 (H27補正予算、再掲)	地域創造部
・「中学校卒業まで(通院・入院とも/所得制限なし)」に大幅拡大した子どもの医療費助成を継続	473, 396	市民部
・小児インフルエンザ予防接種費用の一部助成(生後6か月から小学6年生までを対象に2回助成するクーポン券方式)を継続	21, 415	健康福祉部

4. 「貧困の連鎖」根絶に向けた対策の推進

経済的な困窮など課題を抱える家庭において、乳幼児期から小中学校、高校まで切れ目なく成長をサポートする専任組織を発足させ、貧困が世代を超えて連鎖する、いわゆる「貧困の連鎖」の根絶に着手します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・「貧困の連鎖」の根絶に向け、課題を抱える家庭の子どもの実態調査や分析を実施するとともに、支援ニーズに応える活動状況を把握し、サポート体制の整備計画を策定	3, 000 (H27補正予算)	子ども未来創造局

5. 学校力向上のための人員の加配

小学校・中学校・小中一貫校の3校を「学校力向上パイロット校」に指定して、市独自に人員を加配し、教務主任・研究主任・生徒指導主事を専任化することで、学校のマネジメント機能を強化します。また、事務補助業務を担う校務員を増員し、教職員が授業に専念できる環境を整えます。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・小・中・小中一貫校の3校を「学校力向上パイロット校」に指定し、市独自に人員を加配し、教務主任・研究主任・生徒指導主事を専任化するとともに、事務補助業務を担う校務員を増員	14, 105	子ども未来創造局

Ⅲ 緑・住みやすさ最先端

1. コンビニエンスストアでの住民票等の発行サービス開始

従来の市役所・支所、図書館等での証明書発行に加え、平成29年1月から、コンビニエンスストアで住民票等の証明書発行サービスを開始します。マイナンバーカードにより、午前6時半から午後11時まで証明書発行が可能となり、市民サービスの向上を図ります。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・コンビニエンスストアでの住民票等の証明書発行サービスを開始	23, 311	市民部
・マイナンバーカードの交付	14, 488	市民部

2. 桜井駅周辺地区の再整備

桜井駅東側で進む土地区画整理事業にあわせ、駅前広場の整備に向けてコミュニティ広場とプロムナードの工事に着手し、箕面の西の玄関口にふさわしい、にぎわいと活気にあふれた魅力ある桜井駅前をめざします。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・桜井駅前広場の整備に向けてコミュニティ広場やプロムナードの工事に着手	121, 026	地域創造部

3. 自転車走行レーンの整備

箕面駅から牧落踏切までの市道など全3路線(全3.85km)において、青い自転車走行レーンを整備し、自転車の安全対策を推進します。今後は、市内の主要な店舗・施設間を結ぶ自転車走行レーンの全市展開をめざします。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・箕面駅から牧落踏切までの市道など全3路線(全3.85km)に、青い自転車走行レーンを整備	81,954	みどりまちづくり部

4. 都市計画道路の整備

北大阪急行線の新駅へのアクセス道路となる萱野東西線や、芝如意谷線(萱野東西線以南)の早期整備に向けて、用地交渉や測量・設計などを進め、平成32年度の供用開始をめざします。

本年1月に彩都から府道茨木能勢線までの区間(第一区間)が開通した国文都市4号線について、山麓線(府道箕面池田線)までの第二区間の測量・設計作業を進め、平成32年度の供用開始をめざします。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・萱野東西線や、芝如意谷線(萱野東西線以南)の早期整備に向けて、用地交渉や測量・設計などを推進	810,617	みどりまちづくり部
・国文都市4号線について、山麓線までの第二区間の測量・設計作業を推進	49,652	みどりまちづくり部

5. 上下水道事業の老朽管対策と下水道使用料の値下げ

「上下水道施設整備基本・実施計画」に基づき、老朽管路の計画的な更新を進めるとともに、本年4月より、年間912円(1戸当たり平均額)の下水道使用料引き下げを実施します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・「上下水道施設整備基本・実施計画」に基づき、老朽管路の計画的な更新を推進	963, 790	上下水道局
・下水道使用料の引き下げ	—	上下水道局

6. 公園等の整備による豊かなみどりの保全

貴重な景観資源である山なみのほぼ中央に位置する中央公園を、森林空間との一体性を確保しつつ整備を図り、みどり豊かな山なみ景観の保全を図ります。

また、市街地では、民有地のみどりを守り育てる市民主体の活動を継続して支援するとともに、山間部では、ナラ枯れの予防と被害の拡大を抑制する対策を継続して実施します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・中央公園を森林空間との一体性を確保しつつ整備	173, 549	みどりまちづくり部
・市街地における民有地のみどりを守り育てる市民主体の活動を支援	5, 347	みどりまちづくり部
・山間部におけるナラ枯れの予防と被害拡大を抑制する対策を継続実施	8, 295	みどりまちづくり部

7. みのお山麓保全ファンドへの出資

本年7月に開発事業等緑化負担税を導入し、みのお山麓保全ファンド創設以来、市として13年ぶりに出資を行います。今後も、安定財源としてファンドを支えるとともに、森林整備や市街地緑化、里山保全活動を推進します。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・みのお山麓保全ファンドへの出資	11,250	みどりまちづくり部

北大阪急行線の延伸と周辺まちづくり

平成32年度の開業をめざし、新駅予定地となる、かやの中央駐車場の解体に着手します。また、(仮称)箕面船場駅から(仮称)新箕面駅にかけての新御堂筋沿いで、鉄道整備に支障となる水道管・ガスパイプ移設などの工事を開始します。

バス路線網について、現在の千里中央駅や北千里駅を中心としたバスルートを、新駅を中心としたバスルートへ再編するための調査・検討に着手し、市域全体の交通利便性の向上をめざします。

(仮称)箕面船場駅前への大阪大学箕面キャンパス移転をはじめ、市民文化ホールや歩行者デッキなど、新駅周辺まちづくりの整備を進めます。

事業内容	予算額(千円)	所管部局
・新駅予定地となる、かやの中央駐車場の解体に着手。また、鉄道整備に支障となる水道管・ガスパイプの移設などの工事を開始	5,640,016 (H28～H33 継続費)	地域創造部
・市域全体の交通利便性の向上をめざし、バス路線網再編のための調査・検討に着手	14,310	地域創造部
・(仮称)箕面船場駅前への大阪大学箕面キャンパス移転、市民文化ホールや歩行者デッキなど、新駅周辺まちづくりの整備を推進	57,734	地域創造部
・競艇事業収入のうち鉄軌道の詳細設計費、整備費及び市債利子償還分を除く全額を「北大阪急行南北線延伸整備基金」へ積み立て	404,939	地域創造部